

全日制 川口市立高等学校（普通科）

令和8年度入学者選抜

選抜の基本方針

- (1) 学力検査を重視した選抜を行う。
(2) 調査書については、学習の記録だけでなく、特別活動等の記録、その他の項目において項目毎に総合的によく取り組んだ者の選抜に配慮する。
(3) 受験生の能力をより適正に測るため、数学及び英語の学力検査において学校選択問題を実施する。

選抜資料

- 学力検査の扱い [500点]

	1年	2年	3年	
○調査書の扱い	学習の記録の得点	(1 : 1 : 2)	(180点)
	特別活動等の記録の得点		(30点)
	その他の項目の得点		(60点)

- その他の資料 なし

一般募集

●第1次選抜（60%を入学許可候補者とする）

(各資料の配点)	①学力検査	②調査書	③その他	④合計
	500点	335点	実施しない	835点

●第2次選抜（40%を入学許可候補者とする）

(各資料の配点)	⑤学力検査	⑥調査書	⑦その他	⑧合計
	500点	215点	実施しない	715点

調査書の扱いの詳細

【特別活動等の記録の得点（30点）】

○生徒会活動

- ・生徒会長、生徒会副会長、生徒会本部役員、各種委員会委員長、学級委員長及びその他評価できるもの

【その他の項目の得点（60点）】

○部活動等

- ・部長などに得点を与える。
- ・以下について、大会規模（主催者・種目・部門・記録等）により、得点を与える。
ただし、団体種目の場合には、評価の対象となる大会等にレギュラーであることが明記されている者のみを評価する。レギュラーとは該当の大会等に実際に出場した者を指す。

運動部：全国大会、関東大会、県大会等への出場及びその成績、選抜選手、その他評価できるもの

文化部：全国大会、関東大会、県大会等への出場・出展及びその成績、その他評価できるもの

○資格取得等

- ・以下の資格等を有する場合に、等級に応じて得点を与える。

英語検定準2級以上、漢字検定準2級以上、数学検定準2級以上など

○その他顕著なものとして評価できる場合に、得点を与える。

第2志望	普通科と理数科の間で、相互に第2志望を認める。
------	-------------------------

その他	なし
-----	----

全日制 川口市立高等学校（理数科）

令和8年度入学者選抜

選抜の基本方針

- (1) 学力検査を重視した選抜を行う。
- (2) 学力検査の数学・理科について傾斜配点する。
- (3) 調査書については、学習の記録だけでなく、特別活動等の記録、その他の項目において項目毎に総合的によく取り組んだ者の選抜に配慮する。
- (4) 受検生の能力をより適正に測るため、数学及び英語の学力検査において学校選択問題を実施する。

選抜資料

○学力検査の扱い 傾斜配点（数学・理科） [700点]

○調査書の扱い 学習の記録の得点 (1:1:2) (180点)
特別活動等の記録の得点 (30点)
その他の項目の得点 (60点) } [270点]

○その他の資料 なし

一般募集

●第1次選抜（60%を入学許可候補者とする）

（各資料の配点）	①学力検査	②調査書	③面接	④合計
	700点	468点	実施しない	1168点

●第2次選抜（40%を入学許可候補者とする）

（各資料の配点）	⑤学力検査	⑥調査書	⑦面接	⑧合計
	700点	302点	実施しない	1002点

調査書の扱いの詳細

【特別活動等の記録の得点（30点）】

○生徒会活動等

- ・生徒会長、生徒会副会長、生徒会本部役員、各種委員会委員長、学級委員長及びその他評価できるもの

【その他の項目の得点（60点）】

○部活動等

- ・部長などに得点を与える。
- ・以下について、大会規模（主催者・種目・部門・記録等）により、得点を与える。
ただし、団体種目の場合には、評価の対象となる大会等にレギュラーであることが明記されている者のみを評価する。レギュラーとは該当の大会等に実際に出場した者を指す。

運動部：全国大会、関東大会、県大会等への出場及びその成績、選抜選手、その他評価できるもの

文化部：全国大会、関東大会、県大会等への出場・出展及びその成績、その他評価できるもの

○資格取得等

- ・以下の資格等を有する場合に、等級に応じて得点を与える。

英語検定準2級以上、漢字検定準2級以上、数学検定準2級以上など

○その他顕著なものとして評価できる場合に、得点を与える。

第2志望 理数科と普通科の間で、相互に第2志望を認める。

その他 なし

全日制 川口市立高等学校（スポーツ科学コース）

令和8年度入学者選抜

選抜の基本方針

- (1) 学力検査と調査書の記録をバランスよくみる。
- (2) 調査書の「特別活動等の記録」及び「その他の項目」、特に運動部活動等における実績を重視する。
- (3) 面接を実施し、受検生の意欲・態度を評価する。
- (4) 受検生の能力をより適正に測るために、数学及び英語の学力検査において学校選択問題を実施する。

選抜資料

○学力検査の扱い	[500点]
○調査書の扱い	1年 2年 3年 学習の記録の得点 (1:1:2) (180点) 特別活動等の記録の得点 (30点) その他の項目の得点 (150点)	} [360点]
○その他の資料	面接 [50点]

一般募集

●第1次選抜（60%を入学許可候補者とする）

(各資料の配点)	①学力検査	②調査書	③面接	④合計
	500点	400点	50点	950点

●第2次選抜（35%を入学許可候補者とする）

(各資料の配点)	⑤学力検査	⑥調査書	⑦面接	⑧合計
	500点	550点	100点	1150点

●第3次選抜（5%を入学許可候補者とする）

第2次選抜における合計得点の一定の順位の者を対象に、調査書の特別活動等の記録の得点、その他の項目の得点及び面接の得点で選抜する。

調査書の扱いの詳細

【特別活動等の記録の得点（30点）】

○生徒会活動等

- ・生徒会長、生徒会副会長、生徒会本部役員、各種委員会委員長、学級委員長及びその他評価できるもの

【その他の項目の得点（150点）】

○部活動等

- ・部長などに得点を与える。
- ・以下について、大会規模（主催者・種目・部門・記録等）により、得点を与える。
ただし、団体種目の場合には、評価の対象となる大会等にレギュラーであることが明記されている者のみを評価する。レギュラーとは該当の大会等に実際に出場した者を指す。

運動部：全国大会、関東大会、県大会等への出場及びその成績、選抜選手、その他評価できるもの

○資格取得等

- ・以下の資格等を有する場合に、等級に応じて得点を与える。

英語検定準2級以上、漢字検定準2級以上、数学検定準2級以上など

○その他顕著なものとして評価できる場合に、得点を与える。

第2志望	なし
その他	第3次選抜において、通学距離及び通学時間を資料とする。